

2023年6月5日

ZEH 賃貸マンション開発を目的とした ノンリコースローン形式の「グリーンローン」の契約締結について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2023年4月26日（水）、昭和リース株式会社（代表取締役社長 平野 昇一）のアレンジにより設立された特別目的会社「合同会社ZEH PJ6」に対し、ノンリコースローン形式の「グリーンローン」契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本件は、積水ハウス株式会社（代表取締役社長執行役員兼CEO 仲井 嘉浩）が設計・施工する、ZEH^{注1}の認証を受けた賃貸マンション（さいたま市緑区）の開発資金の提供を目的としております。「グリーンローン原則」^{注2}への適合性については、SBI新生銀行^{注3}により、2023年5月31日に確認されています。

当行では、持続可能な地域経済・社会の実現や脱炭素・気候変動といったグローバルな課題への対応として、サステナブルファイナンスの取組みに注力しております。

本件は、こうした取組みの一環であり、政府が「第6次エネルギー基本計画」（2021年10月閣議決定）で掲げている、「2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す」といった政策目標に資する取組みとなります。

- 注1 ZEHとは net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）のことで、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電などによりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下となる住宅です。
- 注2 グリーンローン原則は、グリーンローン借入に関する自主的ガイドラインとして、商品の開発と誠実性向上を視野に入れ策定された融資原則です。グリーンローンとは企業等が国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資のことをいいます。
- 注3 SBI新生銀行（サステナブルインパクト推進部評価室）では、「新生グリーンファイナンス・フレームワーク」を策定し、本フレームワークがグリーンローン原則に整合的であること、およびSBI新生銀行における本フレームワークの実施体制が堅固であることについて、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

《グリーンローンの概要》

プロジェクト名	浦和美園PJⅢ
借入人	合同会社 ZEH PJ6
物件所在地	埼玉県さいたま市緑区
融資額	13.9億円
竣工予定	2024年9月（予定）
ローン契約締結日	2023年4月26日

以上

報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 法人営業グループ 小山 貴司
TEL (048) 641-6111（代表）

《別紙》

(参考) 本グリーンローンのスキーム図

